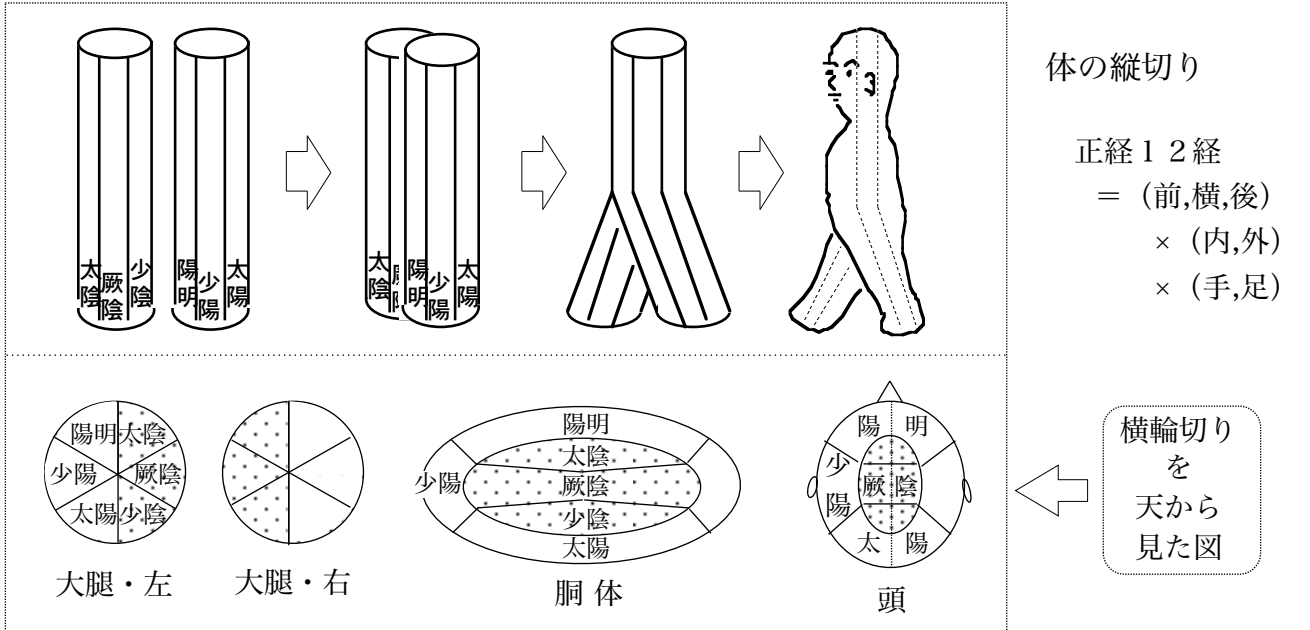
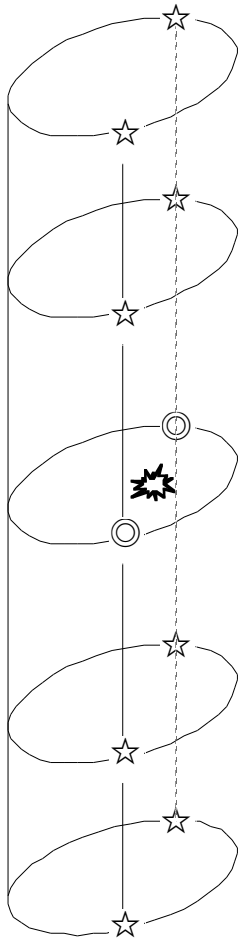


(1) 体は自然 ③ツボの広がり = 負荷分担システム

ヒトは直立2足歩行するサル→重力が基本的な負荷→経絡は立位で縦方向が主



[1] 縦の相関：経絡



[2] ツボの横の相関……寝た姿勢での重力負荷分担 (前後対応もこの一つ)

急性症状の姿勢で
最も縮む所と
伸びる所にツボ

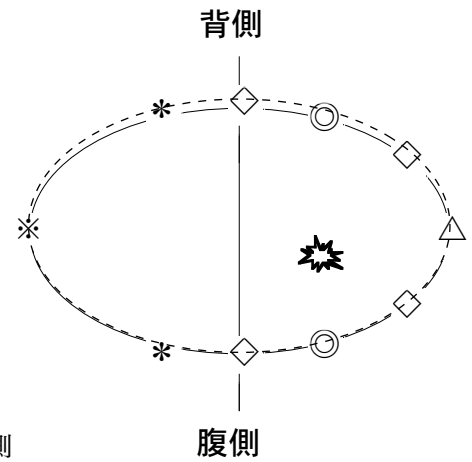
咳：伸＝肩甲間部上半分、
腕と背中の中
縮＝胸骨中央付近、
腕と胸の間

喘息発作：場所は咳と同じ、
伸縮が逆

腹痛

1.消化器系：伸＝胃などの背中側
縮＝胃などの腹側

2.生殖器系：伸＝関連臓器の背中側
縮＝関連臓器の腹側



[3] ツボの上下の相関

- ①首&頭と尾骨周辺…痔に百会、精神症状に尾骨
- ②肩甲骨と骨盤……中府付近と鼠径部
- ③手・腕と足・腿……膝痛に肘のツボ
- ④頭・胴と脚・足……頭痛に足甲、足関節痛に頭、側彎に脹脛

* 百会：頭頂部のツボ、中府：胸の腕よりのツボ

[4] ツボの対角の相関

[2] と [3] の組み合わせ

例1. 左足首の捻挫を右手首の対角対称点で治す

※[前後×上下],[左右×前後],[左右×前後×上下]もある